

箱根旧東海道・金時山

【山行日】2016年5月14日(土)・15日(日)

【メンバー】CL島田、SL仙石、阿部正、大町、梶内、
清水カ・清水敬・前沢、山田、横田

【交通・費用】9300円/人

【日程等】天気 14日晴れ・15日晴れ

14日 小山市役所 8:00=新4号五霞IC(圏央道)=厚木(東名)=
秦野IC=二宮IC=箱根峠=元箱根-畑宿入口(旧東海道)-
須雲川=バス=元箱根=双輪荘(泊)

15日 双輪荘 8:30-公時神社 9:00-金時山 11:00(軽食)-乙女峠-
双輪荘 13:00=御殿場IC=佐野IC=小山市役所 16:00



14日 旧東海道を歩く

箱根八里、東海道最大の難所といわれたところだ。今、私はその街道を歩いている。新緑のこの季節、天候も申し分ない。念願のこの道を仲間と一緒に自分の足で歩けるなんて、なんて素敵なのだろう。川のせせらぎ、鳥のさえずり全てが五感に心地よい。

元箱根を出発し、権現坂、白水坂、於玉坂と往時の石畳を踏みしめる。時々振り返ると緩やかな登り坂になっている。私たちは、江戸への復路なので、少しずつ下っているのだ。

石はごつごつして歩きにくい、木々の間の石畳の道は風情がある。ぬかると膝まで泥につかっただ旅だったことを考えると当時の人々にとって、この街道の整備は夢のようだったに違いない。湯本の方からくる人に多く出会う。登りは苦しそうだ。最高標高差700メートルもうなずける。



創業300年という茶屋で昼食をとり、また旅人に戻る。「檜の木のさかをこゆればくるしくてどんぐりほどの涙こぼれる」とうたわれるほどの急勾配の檜の木坂。下ってから見上げるとなるほど凄い。この坂を登るのは一苦労だろう。湯本まで歩く予定を繰り上げて須雲川バス停から元箱根へ戻る。所用で別行動をしていたS氏も加わり、もちろん今夜のご馳走を仕入れて今日の宿双輪荘に入る。夕食もその後の語らいも満足の1日を終えた。

今度は湯本から草鞋で歩きたいものだ。余談になるが茶屋の甘酒も美味しかったが双輪荘の水が美味しい。全館大地をろ過器とする地下水なのだそうだ。

(記 M.K)



旧街道ウォークの始まりです



木漏れ日の中を歩きます



甘酒茶屋でのお昼



冷たい抹茶とおにぎり



石畳を歩きます



須雲川まで歩いた

15日 金時山に登る

金時山は、童謡「金太郎」に出てくる山になるそうです。私たちは、公時神社入口コースから山頂に向かいました。

途中、金太郎にまつわる、クマと相撲を取った土俵、大きな石宿り石、マサカリなどがある林道を歩き、見晴らしの良いところでは、大涌谷の噴煙、芦ノ湖を見ながら山頂へと向かいます。途中大勢の人とも会いました。

山頂には、すでに若者や、ファミリーの登山者でいっぱい。さすが、人気の山（テレビでおなじみ）ですね。

今回は、どの展望台からも富士山が見えなくて残念！！でも、まぶしい新緑、まだ残っていたシロヤシオ、つつじを見ることができて感激、感謝です。



下山は、乙女峠コースで降りてきました。とても気持ちの良い1日でした。

(記 H. Y)



金太郎の土俵



宿り石



金時山頂、富士山が頭を出していました



乙女峠に下ってきました